

桜宮高校の入試中止など、一方的かつ拙速な対応策では問題解決になりません

教育委員会は、冷静かつ慎重な判断をしてください

—— 感情的・強圧的な意見を排して、教育的知見に基づく適正な判断を求めます ——

2013年1月18日

大阪市教育委員会 御中

発言する保護者ネットワーク from 大阪

【連絡先】〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-6-16

ワタヤ・コスモビル6階 大阪京橋法律事務所気付

電話 06-6167-5270 FAX 06-6351-3603

【要請事項—— 私たちの思い】

- 1 桜宮高校の在校生・受験生を混乱させる対応をとらないでください。
- 2 桜宮高校の在校生の精神的ケアに配慮してください。
- 3 政治家などによる感情的・強圧的な意見に追従せず、子どもへの教育的配慮をもった冷静な判断をおこない、公平かつ中立の委員会としての職責を果たしてください。

【要請の理由】

私たちは、現役子育て世代が集まるネットワークです。「子どもに寄り添う教育」を願って、学んだり語り合ったりしながら、情報や意見を発信しています。

大阪市立桜宮高校で体罰を受けた生徒が自殺するという痛ましい事件が起きました。その後、この件に関して橋下市長の言動が連日大きく報道されており、教育行政に与える否定的影響を心配しています。

生徒や保護者がさらに苦しむ結果をもたらさないよう、次のとおり要請します。

1 桜宮高校の在校生・受験生を混乱させる対応をとらないでください。

橋下市長は、わずか1か月後に迫った桜宮高校の入学試験について、今になって突如として中止すべきだと発言し、その予算執行を停止すると述べています。たとえば1月17日の記者会見では、「（桜宮高校は）子どもを迎えられる体制ではない。受験生がかわいそうといったことよりはるかに深刻な事態」、

「(今春の入試は) あきらめてもらう」と述べています。

しかし、今年の受験生にとって、自分が目標として目指してきた高校への入学試験は、一生に一度の大事な機会です。そして、このために長い期間をかけて勉強と準備を重ねてきたのです。それを直前期の今になって、受験生自身には責任がない事情に基づいて、突如として目標が失われることの喪失感や無念は重大です。

また、橋下市長は、桜宮高校の教師を総入れ替えすべきだとも発言しています。しかし、これは生徒に対する教育と指導の継続性を一気に断絶させるものであり、生徒・保護者・学校現場に大きな混乱を与えてしまいます。

大阪市教育委員会は、このように大きな混乱を生じてしまう措置を安易にとらないでください。

2 桜宮高校の在校生の精神的ケアに配慮してください。

桜宮高校の在校生は、生徒の自殺という重大な事実衝撃を受けていると思います。その精神面へのケアを充実していただくよう、お願いします。

いま大切なのは、今回の件を受け止めて、在校生・教員・保護者が深く話し合う機会を設けることです。政治家が学校に対する批判やバッシングを繰り返すことは、体罰と同じように一方的かつ強圧的な態度を示すものであり、こうした言動に接した生徒の心身への悪影響が心配されます。

大阪市教育委員会は、在校生の精神面へのケアについて、十分に配慮していただくようお願いいたします。

3 政治家などによる感情的・強圧的な意見に追従せず、子どもへの教育的配慮をもった冷静な判断をおこない、公平かつ中立の委員会としての職責を果たしてください。

生徒の自殺という痛ましい出来事が起きた場合に必要なのは、教師や学校に対するバッシングではなく、その背景事情を含めた十分な事実解明と再発防止策の策定です。

今回の件についても、市長および市教委から独立した公平・中立な第三者機関による調査が必要です。その際には、2011年6月1日付の文科省通知「児童生徒の自殺が起きたときの背景調査の在り方について」に沿った内容（遺族への適切な説明や意見聴取、弁護士だけでなく教育・スポーツ・医学・心理など他の領域の専門家も第三者委員会に入れること等）により調査が進められるべきです。

橋下市長は、桜宮高校とその関係者を対象にした攻撃的な言動を繰り返していますが、これは桜宮高校で生じていた問題の解決にならないばかりか、他の学校に通う生徒やその保護者の不安にこたえることにもなりません。

そして、大阪市教育委員会は、攻撃的かつ感情的な発言に左右されることなく、教育についての専門的知見に基づいて教育行政について責任をもつ行政機関として、公平性・中立性を保ちながら、冷静に職責を果たしてください。

以上